



平成28年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月15日

上場会社名 ヤーマン株式会社  
コード番号 6630 URL <http://www.va-man.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 貴三代

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮崎 昌也

TEL 03-5665-7330

四半期報告書提出予定日 平成28年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年4月期第3四半期の連結業績(平成27年5月1日～平成28年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第3四半期	12,049	31.1	740	742.7	704	—	408	—
27年4月期第3四半期	9,192	△11.1	87	—	△23	—	△18	—

(注) 包括利益 28年4月期第3四半期 402百万円 (—%) 27年4月期第3四半期 △17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年4月期第3四半期	70.02	—
27年4月期第3四半期	△3.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年4月期第3四半期	11,049	—	6,930	—	62.7
27年4月期	10,295	—	6,738	—	65.4

(参考) 自己資本 28年4月期第3四半期 6,930百万円 27年4月期 6,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年4月期	—	18.00	—	18.00	36.00
28年4月期	—	18.00	—	—	—
28年4月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年4月期の連結業績予想(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	15,008	12.3	809	24.9	789	53.3	501	60.8	85.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) YA-MAN U.S.A Ltd. 、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年4月期3Q	5,834,888 株	27年4月期	5,834,888 株
28年4月期3Q	194 株	27年4月期	152 株
28年4月期3Q	5,834,734 株	27年4月期3Q	5,834,736 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成28年1月31日)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあったものの、中国をはじめとするアジア新興国の経済成長の減速や原油価格の下落に対する警戒感などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、コスト削減や在庫圧縮などの足元の体質強化に努めながら、海外展開やブランドイメージの向上にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,049百万円(前年同四半期比31.1%増)、経常利益は704百万円(前年同四半期は23百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は408百万円(前年同四半期は18百万円の損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、ショッピング専門チャンネル向け、地上波通販会社向け、カタログ通販会社向けのいずれも堅調であったものの、前年同四半期には及ばず、売上高は3,574百万円(前年同四半期比8.3%減)、セグメント利益は1,076百万円(前年同四半期比18.8%減)となりました。

#### ② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、大手家電量販店向け卸売事業において大型の新規導入を獲得したことや、好調なインバウンド需要に下支えされたことなどにより、売上高は3,013百万円(前年同四半期比32.6%増)、セグメント利益は886百万円(前年同四半期比65.8%増)となりました。

#### ③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、インフォーマーシャルや各種媒体広告について、売上に対する効果を重視しつつ、一定の金額を投下する方針を継続した結果、売上高は4,990百万円(前年同四半期比87.0%増)、セグメント利益は1,248百万円(前年同四半期比1,438.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ753百万円増加し、11,049百万円となりました。現金及び預金の増加1,729百万円、受取手形及び売掛金の減少620百万円、商品及び製品の減少532百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ560百万円増加し、4,118百万円となりました。1年以内返済予定の長期借入金の増加139百万円、支払手形及び買掛金の減少93百万円、長期借入金の増加523百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ192百万円増加し、6,930百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上408百万円及び剰余金の配当210百万円による利益剰余金の増加198百万円が主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降につきましては、コスト削減、社内体制の整備などの課題に引き続き取り組むとともに、ブランドイメージの向上や海外展開にも積極的に注力していく予定です。

なお、平成27年4月決算発表時(平成27年6月12日)に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

YA-MAN U.S.A Ltd. に対し、当第3四半期連結累計期間において出資したことにより、新たに連結子会社を含めております。

この結果、当社グループは、当社及び連結子会社2社の計3社で構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組み替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,740,339	5,469,803
受取手形及び売掛金	2,139,938	1,519,906
有価証券	50,157	50,177
商品及び製品	2,447,462	1,915,155
仕掛品	88,203	94,677
原材料及び貯蔵品	235,779	234,753
その他	727,551	905,323
貸倒引当金	△3,899	△5,394
流動資産合計	9,425,534	10,184,403
固定資産		
有形固定資産	500,686	533,597
無形固定資産	212,017	176,334
投資その他の資産	157,539	154,915
固定資産合計	870,243	864,847
資産合計	10,295,777	11,049,251
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,185,712	1,091,731
1年内返済予定の長期借入金	344,140	483,960
未払金	769,844	821,978
未払法人税等	205,446	208,804
賞与引当金	23,950	15,585
返品調整引当金	128,293	92,704
その他	197,235	182,885
流動負債合計	2,854,622	2,897,648
固定負債		
長期借入金	690,742	1,214,672
その他	12,389	6,166
固定負債合計	703,131	1,220,838
負債合計	3,557,754	4,118,486
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	3,603,021	3,801,511
自己株式	△140	△223
株主資本合計	6,730,472	6,928,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,550	2,936
為替換算調整勘定	—	△1,051
その他の包括利益累計額合計	7,550	1,885
純資産合計	6,738,023	6,930,764
負債純資産合計	10,295,777	11,049,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
売上高	9,192,644	12,049,252
売上原価	4,118,389	5,118,167
売上総利益	5,074,254	6,931,084
返品調整引当金戻入額	126,129	128,293
返品調整引当金繰入額	84,728	92,704
差引売上総利益	5,115,655	6,966,673
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,050,354	2,852,075
貸倒引当金繰入額	1,889	1,495
給料及び手当	428,896	452,429
賞与引当金繰入額	11,975	15,585
減価償却費	73,583	63,944
研究開発費	69,860	87,411
その他	2,391,174	2,752,793
販売費及び一般管理費合計	5,027,734	6,225,734
営業利益	87,921	740,939
営業外収益		
受取利息	451	547
受取配当金	250	336
その他	6,798	7,126
営業外収益合計	7,501	8,011
営業外費用		
支払利息	15,865	14,042
支払保証料	660	661
為替差損	94,505	16,503
その他	7,536	13,354
営業外費用合計	118,568	44,561
経常利益又は経常損失(△)	△23,144	704,388
特別損失		
固定資産除却損	569	12,743
特別損失合計	569	12,743
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△23,714	691,644
法人税等	△4,731	283,104
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,983	408,540
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,983	408,540

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,983	408,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,268	△4,614
為替換算調整勘定	—	△1,051
その他の包括利益合計	1,268	△5,665
四半期包括利益	△17,714	402,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,714	402,874
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,899,168	2,272,590	2,668,086	8,839,845	352,799	9,192,644	—	9,192,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	119,479	119,479	△119,479	—
計	3,899,168	2,272,590	2,668,086	8,839,845	472,279	9,312,124	△119,479	9,192,644
セグメント利益	1,325,080	534,603	81,183	1,940,867	123,764	2,064,632	△1,976,710	87,921

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,976,710千円には、セグメント間取引消去27,900千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,004,610千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成28年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,574,708	3,013,095	4,990,234	11,578,039	471,212	12,049,252	—	12,049,252
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	39,303	39,303	△39,303	—
計	3,574,708	3,013,095	4,990,234	11,578,039	510,516	12,088,555	△39,303	12,049,252
セグメント利益	1,076,059	886,225	1,248,949	3,211,234	64,497	3,275,732	△2,534,793	740,939

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,534,793千円には、セグメント間取引消去23,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,558,193千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。